

第二期小樽市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況(令和2年度実績)

■令和2年度 教育・保育の需要量の見込みと確保方策(提供体制)〔※事業計画書28ページ一部抜粋〕

		計画策定時 (A)					
		2号		3号	0歳	1・2歳	
		1号	幼児期の学校教育の利用希望が強い 左記以外				
①需要量の見込み 【利用希望児童数】		902	1,032	1,417			
		594	308	724	693	200	493
②確保方策 児童定員合計	特定教育・保育施設	★を除く 448	－	802	704	190	514
	上記以外の幼稚園※1	550	－	－	－	－	－
	幼稚園及び預かり保育	★ 308	－	－	－	－	－
	特定地域型保育事業	－	－	－	－	－	－
	認可外保育施設	－	－	0	68	39	29
	合計	1,306	802	1,574	772	229	543
	過不足 (②-①)	404	78	79	29	50	
		幼稚園 ← → 保育所					

		実績(R3.3現在) (B)					
		2号		3号	0歳	1・2歳	
		1号	幼児期の学校教育の利用希望が強い 左記以外				
		921	1,121	1,499			
		610	311	810	689	197	492
★を除く	448	－	802	704	190	514	
	550	－	－	－	－	－	
	★ 308	－	－	－	－	－	
	－	－	－	－	－	－	
	－	－	0	69	34	35	
	合計	1,306	802	1,575	773	224	549
	385	－8	84	27	57		
		幼稚園 ← → 保育所					

		実績(B)-計画(A)					
		2号		3号	0歳	1・2歳	
		1号	幼児期の学校教育の利用希望が強い 左記以外				
		89					
16		3	86	▲ 4	▲ 3	▲ 1	
0		－	0	0	0	0	
0		－	－	－	－	－	
0		－	－	－	－	－	
－		－	－	－	－	－	
－		－	－	－	▲ 5	6	
0		0	1	▲ 5	6		
▲ 19		0	5	▲ 2	7		
		幼稚園 ← → 保育所					

令和2年度の取組と今後の事業計画、課題等

令和3年3月現在では、幼稚園部分の利用定員1,306名に対し921名の利用実績があり、保育所部分では1,575名の利用定員に対し1,499名の利用実績であった。

この結果から、保育所部分において、76名分保育需要を上回る利用定員を確保しているように見受けられるが、特定の保育施設への入所希望や、保育士不足から各保育施設において十分な保育士数を確保できていない状況があり、希望する保育所等に入所することができない入所待ち児童が76名生じている。このため、保育所部分の定員の確保に加え、保育士等の保育従事者の確保に努める必要がある。

なお、従来型の幼稚園4園については、令和4年4月から、子ども・子育て支援新制度幼稚園へ移行することが予定されており、利用定員の設定については、事業者の意向を確認しつつも需要量を満たすよう設定していく必要があると考える。